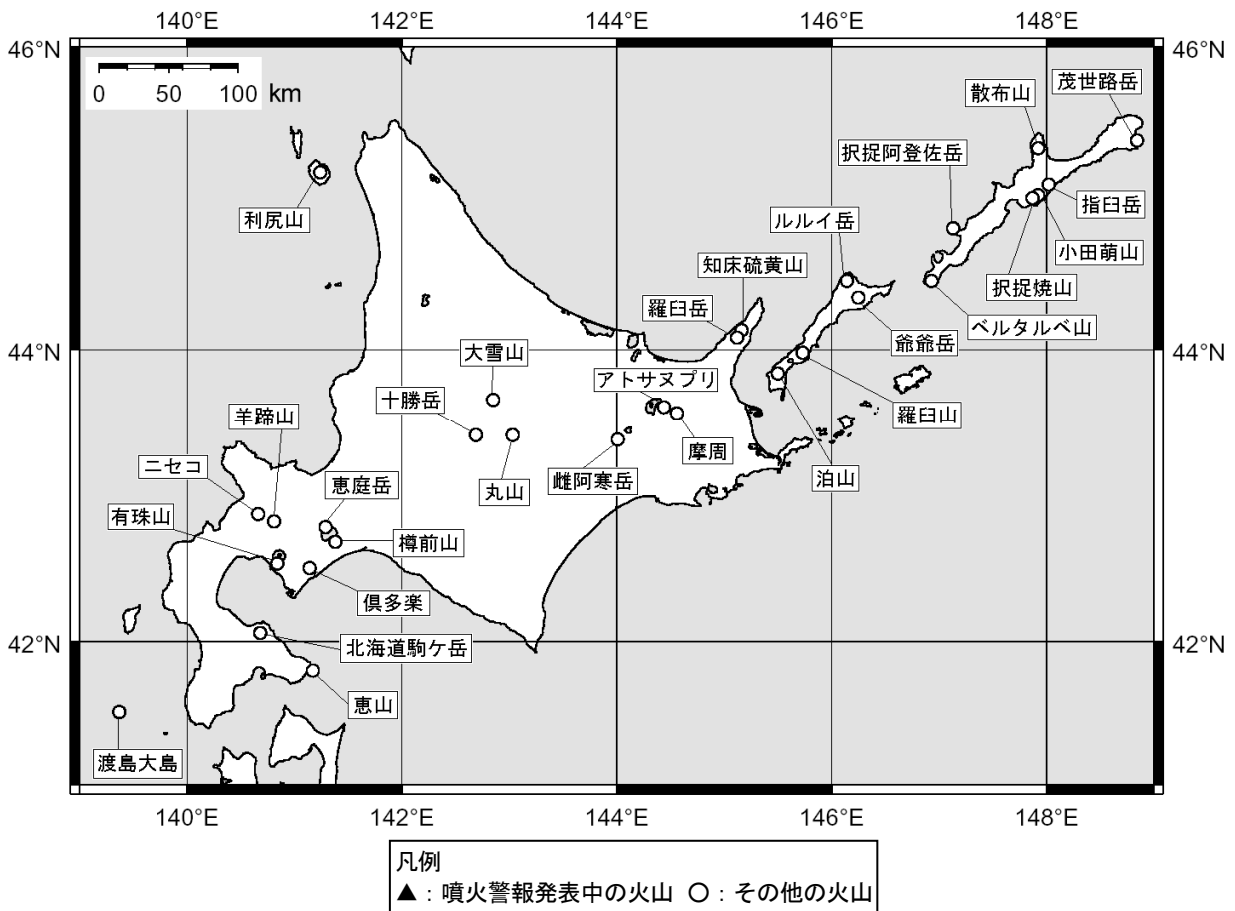


管内月間火山概況（平成 22 年 2 月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）	： 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳
噴火予報（平常）	： 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、 大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、 恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、 小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルペ山、 ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 22 年 3 月分）は平成 22 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁の他、北海道大学、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、北海道立地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

各火山の活動及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

16 日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が 3 回発生し、その後、火山性地震がやや増加しましたが、噴煙の様子には特に変化はなく、24 日に行った上空からの観測でも特段の変化は見られませんでした。

地震活動は 16 日以外は低調に経過しています。62-2 火口の噴煙活動や熱活動は低調に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られませんが、62-2 火口浅部の膨張を示す地殻変動が 2006 年以降継続していることから、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いており、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張を示す地殻変動が 2006 年以降継続していることから、今後の活動の推移には注意が必要です。

恵庭岳〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

倶多楽〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。